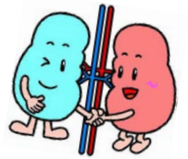


腎臓リハビリテーション学習会開催しました♪

2017年3月9日に理学療法士による、「腎臓リハビリテーションについて」について学習会を行いました。

平成29年2月17・18日、第7回日本腎臓リハビリテーション学会へ参加し、最新の研究から、運動療法を中心とした、リハビリテーションが、腎機能を悪化させず、むしろ改善すること。また、心疾患発症率を低下させたり、適切な運動と栄養管理のもと、サルコペニア・フレイルを改善し、そのこと自体が腎機能低下防止なることもわかってきました。

安静・低たんぱく食から運動と必要に応じたたんぱく・総カロリー増量の検討も推奨されてきております。今回学んだことを、多職種で共有し、当院でも多い、腎疾患患者に対し役立てていけるような内容となっていました。



【学習会の様子】



【参加者の感想】

管理栄養士；腎機能と栄養について詳しく知る事が出来たので、今後、運動・腎機能を考慮したアプローチをしていきたいと思いました。

運動によって、腎機能が改善する事がよくわかりました。タンパク質を増やすのか、制限するのか勉強していきたいです。

理学療法士；退院後の生活指導だけでなく、食事や運動の自己管理の面で意識付けしていただくことを多く学べたので、今後の治療の参考になりました。

今までは単純に腎機能低下イコール激しい運動はダメというイメージが強かったが、今後、腎機能・心機能に注目しながらリハビリを実施したいと思いました。

運動の継続が腎不全・心不全を予防出来る事がわかりました。虚弱状態の患者様に対し学んだことを早期から実施していきたいです。

作業療法士；担当している患者様の中に既往歴や合併症として、心不全・腎不全がある人も多く、今回の知識を生かしていきたいと思った。

とても分かりやすく参考になった。検査値の見方も勉強になりました。

言語聴覚士；現在、腎疾患の方を担当し、どのように食事量をアップさせるか悩む部分もあり、今回の学習会をきくことで、改めて食事や運動の重要性について考える機会になりました。

皆さんよく理解できた学習会となりました。

今までの認識と大きく異なる点も多く良い学習になったとの意見も多かったようです。



【学習会講師を担当してみて】

日本腎臓リハビリテーション学会に参加し、基礎研究・臨床研究が非常に進んできており、腎疾患患者には運動推奨へ舵が切られている現状を知ることができた。

また、腎機能低下が進むと、心疾患の合併が増加し、特に高齢者ではサルコペニア・フレイルが起きることで、ますます腎機能低下につながる。一律に低蛋白食の提供ではなく、必要に応じて蛋白量の調整を主治医や管理栄養士と相談し調整していきたい。

今回の学習会により参加者の理解度も良好であったこともあり、今後も、多職種間で知識向上を図っていきたい。